

〈作成・和田喜夫〉

1960年(昭和35年)

- ・4月 演出者の地位向上、相互交流、演劇事業の実施を目的として創立する。
- 初代理事長に 村山知義、
- 副理事長に 千田是也、 戌井市郎。
- 事務局長に 松尾哲次 を選出。
- ※後に事務局長は 木村光一 に交代。
- その後一時的に休止状態になる。

1974年(昭和49年)

- ・3月：日本演出者協会再発足総会を開く。
- ・理事長・村山知義、 事務局長を西木一夫。
- (東京小劇場に事務局を置く)
- ・6月：会報第一号発行する。
- ・9月：日本芸能実演家団体協議会に加盟。

1975年(昭和50年)

- ・「演出契約ならびに演出料についての規定」を設ける。
- ・事務局長にふじたあさや着任。
- ・事務局を新劇団協議会に移転。
- 事務局作業を協議会に委託。

1976年(昭和51年)

- ・八田元夫副理事長死去。

1977年(昭和52年)

- ・第2代理事長に千田是也就任。副理事長に宇野重吉。

- ・合同演劇講座スタート

1978年(昭和53年)

- ・千田是也を学長に「夏の演劇大学」スタートする。

(長野県清里・清泉寮)

1982年(昭和57年)

- ・関西支部発足。

1984年(昭和59年)

- ・演劇大学を仙台で開催 特別ゲスト：岡田嘉子

1986年(昭和61年)

- ・友好訪中団を組織

香港・広州・上海・北京を訪問。

1987年(昭和62年)

- ・「夏の演劇大学」 “劇体験・清里の夏” 開催。
(清里清泉寮)
- ・副理事長：田中千禾夫、 飯澤匡

1988年(昭和63年)

- ・初めて選挙による役員選出を行う。
- ・千田是也 理事長 を選出。
- 事務局長ふじたあさやは継続

- ※アングラの演劇人にも入会してもらおう方針となる。

1990年(平成2年)

- ・アングラの演出家として流山児祥が入会。
- ※アングラ、小劇場の演出家が入会を始める。
- 新劇とアングラの確執はしばらく続く。

1992年(平成4年)

- ・「演劇人国際交流 92 日韓演出家会議」を開催。
(東京芸術劇場)

韓国との交流の第一歩を踏み出す事業として

〈実行委員・ふじたあさや、 貝山武久、 流山児祥〉

※林英雄(イム・ヨンウン) 劇団「サヌリム」、

呉泰錫(オ・テソク)と劇団「木花」、

孫振策(ソン・ジンチャク) 劇団美醜等が来日。

観客として金亜羅(キム・アラ)舞天も来日。

- ・11月北京の小劇場を評論家協会と共に10名で訪問。

1993年(平成5年)

- ・千田是也理事長、ふじたあさや副理事長、
貝山武久事務局長。

※事務局次長・流山児祥、事務局員・坂手洋二

※会員を増やすへ300名となる〈

1994年(平成6年)

- ・5月：「94年春・演出家の集い」開催。
(シアターX)

※これが「演出家の集い」の第1回目。

- ・8月：「演劇大学」再開。

〈第8回 松本演劇フェスティバル〉に併せて。

講師：生田萬、香川良成、中村哮夫、原田一樹、野村耕介他

(松本市民会館、あがたの森公園講堂)

- ・「日韓演劇人会議」開催。

- ・12月 千田是也の死去に伴い、任期終了まで

阿部広次が理事長代行。

1995年(平成7年)

- ・1月：阪神大震災により被災した関西支部会員への

義捐金のカンパを募る。

〈会員99名より54万3千円が集まり関西支部へ送る〉

・1月:「日中演劇フォーラム・日中演出家会議」開催。
(グループ座)

・ふじたあさやを第3代理事長に選出。
事務局長・貝山武久。

1996年(平成8年)

・第2回「96夏・演出家の集い」開催

特別ゲスト:三木のり平

(於:シアターX)

・11月:「日韓演劇人会議」開催。(グループ座)

・12月:愛知支部発足

1997年(平成9年)

・第4代理事長に戊井市郎選出。

事務局長に和田喜夫が着任。

・会員向けに「告知版」を毎月出す。

〈理事会報告、観劇案内、エッセーなど〉

・「韓日演劇人会議」開催。(ソウル)

・ふじたあさや提案により、飯田市の助成で

「演劇大学 in 飯田」が始まる。

※これを契機に、全国からの開催依頼が届き始め、文化庁に助成申請し、2000年より毎年各地での開催を始める。

1998年(平成10年)

・「東南アジア演劇研究研修セミナー」開催。

(世田谷パブリックシアター)

※東南アジア5か国の演出家を招聘(インドネシア・

フィリピン・タイ・シンガポール・マレーシア・台湾)

オブザーバー3か国(中国・韓国・オーストラリア)

が自費参加し、「戦争」をテーマに議論し、

ワークショップを行なった。

群馬県川場村で合宿も実施。(助成:文化庁500万円)

※世田谷パブリックシアターの佐藤信芸術監督

が全面協力。

・協会事務所を新宿御苑に移し独立。

全国の会員に移転の費用のカンパをお願いした。

全ての作業を独自で開始する。

・文化庁より育成事業の依頼を受ける

〈流山児副理事長、和田事務局長〉

※国際演劇交流、演劇大学、若手演出家コンクールを

提案

・「日韓演劇人会議」を開催。(グループ座)

1999年(平成11年)

・「国際演劇交流セミナー」を開始する。

カナダ特集が第1回。年間で14企画を実施。

※初代の国際部部长は貝山武久が務める。

・「韓日演劇人会議」開催。(ソウル大学路花樹会館)

※この会議において日韓演劇交流を拡大するために両国の複数の演劇関係団体による交流を和田喜夫が提案。

日本側では7団体による『日韓演劇交流センター』が生まれる。

・事務局員に吉村八月。

2000年(平成12年)

・「日韓演劇人会議」開催。

・「国際演劇交流セミナー」9か国の開催。

2001年(平成13年)

・第5代理事長に瓜生正美を選出。

事務局長・和田喜夫

・「若手演出家コンクール」を開始する。

(下北沢「劇」小劇場)

※流山児副理事長が本多劇場と交渉して実現。

・「演劇大学」3都市開催

「国際演劇交流セミナー」6か国開催

2002年(平成14年)

・「日韓演劇人会議」開催。

・日韓演劇交流センターと韓日演劇交流協議会の交流

開始。(杉並会館)

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」実施。

2003年(平成15年)

・第6代理事長に福田善之を選出。

事務局長・和田喜夫

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」実施。

・『演出家の仕事 60年代・アングラ・演劇革命』出版。

2004年(平成16年)

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」を実施。

2005年(平成17年)

・優秀指導者特別指導事業を実施

青井陽治が企画(講師:ロジャー・リーズ)

- ・協会事務所を芸能花伝舎に移す。事務局員に斉藤由夏。
- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

2006年(平成18年)

- ・優秀指導者特別指導事業を実施
(講師：セルゲイ・チエルカフスキー)
- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

2007年(平成19年)

- ・第7代理事長に和田喜夫を選出。
事務局長に大西一郎が着任。
- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

・「演出家の仕事 戦後新劇」『海外戯曲アンソロジー』出版。

2008年(平成20年)

- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。
- ・『海外戯曲アンソロジーII』出版。
- ・協会誌『D』を創刊する。

2009年(平成21年)

- ・6月1〜30日
第1回《日韓演劇フェスティバル》開催。
池袋あうるすぽっとで1か月。
- 日本・韓国・在日の交流を協会の基本方針とする。

※韓国演劇演出家協会との共催。

平成21年度文化庁国際芸術交流支援事業〈国際共同〉

・9月19〜22日

『演劇CAMP in 中津川』を始める。
全国の会員を誘う。

※伝統と現代、社会と繋がる国際演劇フェスティバルを目標として、中津川教育委員会と連携し、5年計画で始めた。

- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

・“アジア演劇祭 in 上海”参加(関西ブロック)

・『演出家の仕事 八十年代・小劇場演劇の展開』出版

『海外戯曲アンソロジーIII』出版

2010年(平成22年)

- ・「日本の近代戯曲研修セミナー」を開始する。
- ・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」を実施。

2011年(平成23年)

- ・6月 東日本大震災の支援事業としてフェニックスプロジェクトを開始。

※笹塚ファクトリーとの共催で実施。

朗読劇『物理学者たち』、非戦を選ぶ演劇人の会有志による『それゆけ安全マン！？レントゲン・チエルノブイリ・フクシマ』など

※7月、8月にも実施。毎回、東北の演劇人を招聘し、報道されない報告をお願いする。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

2012年(平成24年)

・1・2月 第2回《日韓演劇フェスティバル》を東京・大阪・福岡で開催。

※『トンマツコルへようこそ』を3都市で公演。

各会場で独自の内容を企画。大阪の在日の劇団、劇団タルオルムが済州島よりマダン劇団ノリペハルラサンを招聘。

・3月 フェニックスプロジェクト vol.5を実施する。
(10、11日・笹塚ファクトリー)

〈あさか開成高校、相馬高校、新宿高校を招聘し公演・シンポジウムを実施。〉

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

2013年(平成25年)

・6月より一般社団法人となる。

・フェニックスプロジェクト vol.6を実施する。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家コンクール」を実施。

・演劇CAMP in 中津川の最終回5年目を実施。

2014年(平成26年)

・日韓演劇作品交流プロジェクト
“演劇でつながろう”を開始する。

※ソウル演劇協会の最優秀若手演出家と日本演出者協会の最優秀賞演出家が東京とソウルで公演を行い、若手の海外公演を推進する企画。韓国は朴章烈(パク・チャンニョル)会長が牽引する。

3月 韓国：劇団可変(カビョン)『無惨なメディアの詩』

5月 日本：劇団チヨコレートケーキ『親愛なる総統』

〈助成：マルハン〉

・8月 フェニックス・プロジェクト vol. 7 を実施する。
仙台の劇作家、故・石川裕人が震災後に書いた
『方丈の海』のリーディング上演を行う。

(於：芸能花伝舎)

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家
コンクール」を実施。

2015年(平成27年)

・日韓演劇作品交流プロジェクト

“演劇でつながろう” 第2回を実施。

4月 韓国：劇団昌世(チャンセ)『ソレモク』

4月 日本：CHAIRPLIN『FRIENDS〜踊る戯曲』

〈東京と韓国で上演〉

〈国際交流基金アジアセンターの助成〉

・ソウル演劇協会と交流の締結を、ソウル演劇祭に

おいて行う。

・事務局長を大西一郎、小林七緒の2人体制とする。

副理事長：宮田慶子、流山児祥

常務理事：西沢栄治、日澤雄介、大西一郎、

小林七緒

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」を実施。

2016年(平成28年)

・日韓演劇作品交流プロジェクト

“演劇でつながろう” 第3回実施

3月 韓国：ババサーカス『煉獄』

5月 日本：弦巻楽団『四月になれば彼女は』

※国際交流基金アジアセンターの助成がここで中断し、

この企画も中断している。

・9月

「アジア青空劇場フェスティバル 2016 in Kurume」

開催。(九州ブロック企画)

・12月 「演出者の集い」を開催。(座・高円寺2)

※2011年に中止した50周年記念を

55周年記念として実施した。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」「日本の近代戯曲研修セミナー」を実施。

2017年(平成29年)

・第八代理事長に流山児祥を選出。

事務局長は和田喜夫。

・演劇センター部を創る。演劇センター構想を日本劇

団協議会、日本劇作家協会と再検討

※情報、アーカイブ、演劇を取り巻く環境を整備す
る目標。

・日本の近代戯曲研修セミナーを

「日本の戯曲研修セミナー」とする。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」を実施。

2018年(平成30年)

・2月 フェニックス・プロジェクト vol. 8

『あの日、私たちは小学生でした』 実施。

※福島の高校生による公演、シンポジウムを実施

・新たに社会包摂部を立ち上げる。

※社会的役割を推進するために全国の会員に

アンケートをとって始めた。

・教育出版部で『演劇入門』の話し合いを始める。

・協会員向けDMで「言葉の広場」を始める。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」、「日本の戯曲研修セミナー」を実施。

(演劇大学4都市開催 山形、函館、出雲、大阪)

2019年(平成31年・令和元年)

・3月 フェニックス・プロジェクト vol. 9

『311を風化させない』 実施

・8月 流山児祥を理事長として再選。

和田喜夫が事務局長を継続。

※ 副事務局長に柏木俊彦、大西一郎が着任。

・愛知トリエンナーレへの文化庁の助成金取り下げに

抗議声明文を出す。

・「演劇大学」、「国際演劇交流セミナー」、「若手演出家

コンクール」、「日本の戯曲研修セミナー」を実施。

2020年(令和2年)

・社会包摂部の事業が文化庁に採択される。

『社会と知的障がい者施設を演劇でつなぎ

地域のプラットフォームをつくる事業』

・4月 フェニックス・プロジェクト

『ファミリーツリー』延期。

・4月 東京での自主事業『演出の「コツとツボ」』延期。

・新型コロナウイルス感染症により理事会を

オンラインシステムZOOM会議で行う。

・5月 『演劇緊急支援プロジェクト』と

『We need culture』と「文化芸術復興基金」を

要請する。